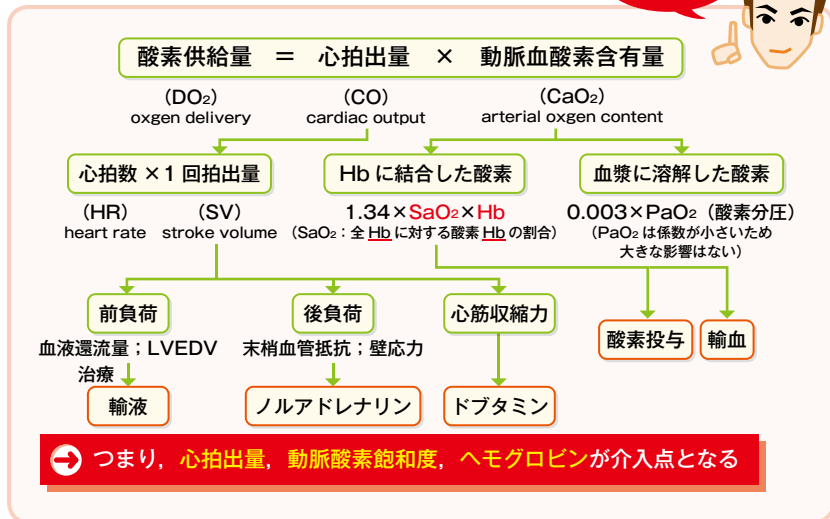

 : それではこれを見てごらん。


末梢への酸素供給に関する公式


絶対暗記!





LVEDV: 左室拡張末期容積 (left ventricular end-diastolic volume)

 : 末梢への酸素供給量は、心拍出量 (CO) と動脈血酸素含有量 (CaO₂) を掛け合わせたものなのですね。

 : そうだね。そして心拍出量は心拍数と1回拍出量に分かれる。さらに1回拍出量は前負荷と後負荷、心筋収縮力に分かれる。動脈血酸素含有量は先ほど言ったように、Hb に結合した酸素と血漿に溶解した酸素 (溶存酸素) の2つに分かれる。

 : なるほど。

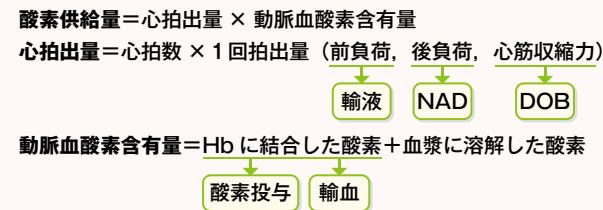
 : それぞれを改善させるよう治療も考えていけばいいね。前負荷に対しては輸液、後負荷に対してはノルアドレナリン (NAD)、心筋収縮力に対してはドブタミン (DOB) だ。Hb に結合した酸素に対しては、酸素投与と輸血ということになる。

 : なるほど、それでこの患者さんに酸素投与が必要だったことがよくわかりました。この式は、何度も紙に書いて覚えたほうがいいですね。ありがとうございました。


チャーレジの take home message

1. ショック≠血圧低下 2. ショックの鑑別は“SHOCK”で覚えよう
- ショックとは必ずしも血圧低下 ① Septic ② Hypovolemic
ではない。末梢の組織還流障害 ③ Obstructive ④ Cardiac
の結果、細胞に必要な酸素が供 ⑤ Anaphylactic (K)
給されないこと。


3. 末梢への酸素供給の式を理解してショックに対応しよう





チャーレジのホットアドバイス 研修医1年目は社会人1年目


 : 国家試験に受かって医師1年目がスタートしたけど、社会人のマナーってわかる?


が多いって。エレベーターでのマナーや席次マナー、結婚式でのマナーなど、医師としてではなく社会人としてのマナーは挙げればきりがないよ。


 : 社会人のマナーですか? 大事なのはわかっていますが、習ったこともないし、自分で学ぶ余裕もなくて……。


 : たしかに、名刺の受け渡し方なんかよくわかりませんね。


 : この前、中学校の同窓会で製薬会社に勤める友人に会ったんだ。彼が言うには、『医師って常識やマナーに欠ける人多いよね』って。とても気になったよ。でも本当にそうかもしれない。

 : 一般の企業の人たちは入職時の新人研修なんかでビジネスマナーをみっちり教わるかもしれないけど、医師はなかなか教えてもらえる機会がないから自分で身につける必要があるよ。

 : 具体的にどのようなことですか?

 : たしかに目の前のことでいっぱい、社会人のマナーまで頭が回りません。

 : たとえば、学会での名刺交換。名刺の受け渡し方も適当だし、敬語の使い方やメールや電話の対応にも問題

 : 研修医1年目は社会人1年目だから、医師だけでなくいろんな人とのつきあいがこれから始まる。一人前の社会人として、常識やマナーも身につけなければならないね。

参考文献

1) Vincent JL, & De Backer D: Circulatory shock. *N Engl J Med*, 369: 1726-1734, 2013.

(松尾 貴公)